

基地のなかや基地の近くに住み、働き、生活しているという意味では私たちも基地の女性なんだから、基地の女性たちという言葉に米軍相手の娼婦という意味をもたせるのは私たちへの侮辱だ——という抗議をまったく正しいと思ったからである。事実、日本全土が軍事基地化されている以上、わたしたち日本人はみんな基地の男であり基地の女なのだ。もし米軍用の娼婦だけをとくに基地の女性とよぶことにするなら、一般の日本の女性たちは基地の女ではない、つまり日本全土に十重二十重にからみついた基地の鉄鎖にしばられていないという錯覚がひきおこされることがあり、こうした錯覚こそ何よりも危険だと考えたからである。

なお、この書をまとめるにあたって、かつて外務省外局の終戦連絡委員会横浜事務局に勤務しておられた北林余志子夫人の御報告をも収録させて頂くことができた。あつく感謝する次第である。

一九五三年九月二十五日

編者

目次

まえがき..... I

一九五三年に出された初版のまえがき..... VII

第一部 洋娼の発生..... 一九

第一章..... 一九

- 1、沢田楊子・倉持利恵子
- 2、真野与喜子・智子・君子
- 3、山口治子
- 4、M工場の女子工員たち
- 5、江東女性軍第一中隊
- 6、横須賀の遊郭
- では 7、広島女子青年団員
- 8、大野てい子・三崎麗子・山田えい子

第二章..... 四三

敗戦——政府・銀行・売春業者の陰謀——強姦！強姦！——慰

安所——美徳の利用——性病まんえん——オフ・リミッツ

第二部 街頭への進出

第一章

- 1、N病院事件
- 2、名古屋事件
- 3、室戸みね子
- 4、浅見真佐子
- 5、斎藤悠子
- 6、大井みどり
- 7、丹野紀久子
- 8、桜井睦子

第二章

街頭進出・全日本慰安所となる・女狩りグループ・解放をもとめて・
スペシャルメイド・転落・自由な売春

第三部 街娼の時代

第一章

- 1、サッポロ・メリー
- 2、水戸たか子
- 3、樋口冴子
- アヤ、ブロンデ
- イ・テイ
- 5、市川順子
- 6、草間ゆりえ
- 7、熊谷友子

第二章

不完全街娼形態の崩壊・性的需給均衡・暴力団との関係・

第四部 朝鮮戦争の背後で

第一章

ふたたび性病まんえんす・残酷な狩りこみ・アルバイト洋娼・戦争前夜

- 1、津田クニ、ミミ
- 2、富士礼子
- 3、Y・Lグループ
- 4、ハニイ
- 5、ヨコタの女性たち

第二章

開戦・売春恐慌・戦闘基地へ・完全街娼形態の崩壊・「戦争遂行のための売春」

第五部 戦場に連れ去られた日本娘たち

第一章

- 1、北九州戦場慰安隊
- 2、須藤美和子
- 3、三村さち子
- 4、河合さと子
- 5、日子姉妹
- 6、仙台では——青春グループ
- 7、北海道千歳町

第二章

完全軍事基地化の仕上げ・戦闘基地から新設基地へ・売春ラッシュ・
洋娼等の爆発的增加・なぜこんなにふえたか?・中小売春業者の発生

第六部 「独立」はしたけれど……………一九三

第一章……………一九三

- 1、新村照子 2、ルキ 3、永井たき子 4、リッティ
5、加茂きぬ子 6、トウキヨウ・セブン・ローズイズ

第二章……………二一九

慢性的売春恐慌・オンリー形態とその崩壊・
「新国軍」登場す・洋娼時代の終り

第七部 グラフは何を物語るか……………二三九

第八部 傷は癒えず 北林余志子……………二四九

第一章 米軍のヨコハマ進駐……………二四九

- 1、恐怖と狼狽の街 2、不法行為の頻発

第二章 貞操の蹂躪……………二六四

- 1、輪姦された人妻 2、蹂躪された処女たち 3、最も野獸的なもの

第三章 日本娘の運命……………二九〇

黒い春

五島 勉